



第四回

門前まち花遊歩

牛に引かれて善光寺参り

開催報告

四月四日(土)、
今年で四回目となる

「門前まち花遊歩

牛に引かれて善光寺参り」を開催
いたしました。

今回は、善光寺御開帳(四月五日、
五月三十一日)の期間前日、表参道で
行われる「日本一の門前町大縁日」の
オープニングパレードの先頭をきって
着物をまとった六十七名の女性と
お馴染みの牝牛・杏花ちゃんが行進。
善光寺までの道のりを
練り歩きました。

- 主催
NUPRI NPO法人 長野都市経営研究所
- 後援
長野市、善光寺、長野商工会議所、
中央通り活性化連絡協議会





今回の集合場所は、善光寺山門をイメージした「大庇(おおびさし)」が設置された真新しい長野駅。受付開始の午前九時には、オープニングパレードを一目見ようというお客様とパレードに参加する人たちで大賑わい。オープニングセレモニーでは、長野市ウエルカム長野2015実行委員会会長を務める加藤久雄市長の挨拶とダルマの目入れのパフォーマンス、勇壮な「真田勝鬨太鼓」が披露され、いよいよ出発。「花遊歩」の行列を先頭に、県警音楽隊やカラード隊、長野西高バトン班などが続き、さらに中央通り沿いで待機していた一般参加者も加わり、総勢約千人の行列が「セントラルスクエア」を目指しました。



大行列はセントラルスクエアで解散。「花遊歩」の参加者は、休憩を取ったあと再び列をなして善光寺へ。幼稚園児の姪御さんを連れて参加した四十代の女性も、「普段なかなか着物を着る機会がないので、良い企画だと思えます。姪も着

慣れない着物を嫌がらずに着てくれました」。叔母様を選んでもらったレトロ柄の着物が似合いの姪御さんも「楽しい」と話していました。表参道は出店が並び、様々なイベントが行われてい

ましたが、雅な女性たちの姿に、思わずカメラを向ける方も。「御利益にあずかりたい」と杏花ちゃんに繋がれた赤い綱につかまる方もいらつしやいました。

いつもより長い道のりを歩き、山門に到着。善光寺事務局次長の若麻績享則氏より答礼をいただく



▶若麻績享則氏からの答礼



▶参加者の記念撮影会

いたあと、プロカメラマンによる記念撮影会。咲き始めた桜を背景に、女性たちは笑顔でカメラに収まっていました。撮影が済んだ方から宿坊玉照院へ移動。精進料理をいただく前に、ご住職山ノ井大樹氏から善光寺御開帳についてのお話があり、御開帳についての知識をより深めることができました。また、皆さんにご協力いただいたアンケートには「憧れの宿坊で食事ができるうれしい」「御開帳のお祭りムードと共に盛り上がりつつよかった」「善光寺と着物をアピールしていきたい」「また春に開催して欲しい」など、様々なご意見をいただきました。食事の後は自由解散でしたが、せっかくなので機会だからと「前立本尊御遷座式(まえだちほんぞんごせんざしき)」にも多くの皆さんにご参加いただきました。



▶宿坊玉照院のご住職より御開帳についてのお話をいただきました。



▲玉照院での精進料理

次回の開催時期については現在検討中です。いましばらくお待ちください。